

事前説明会



# 目的

---

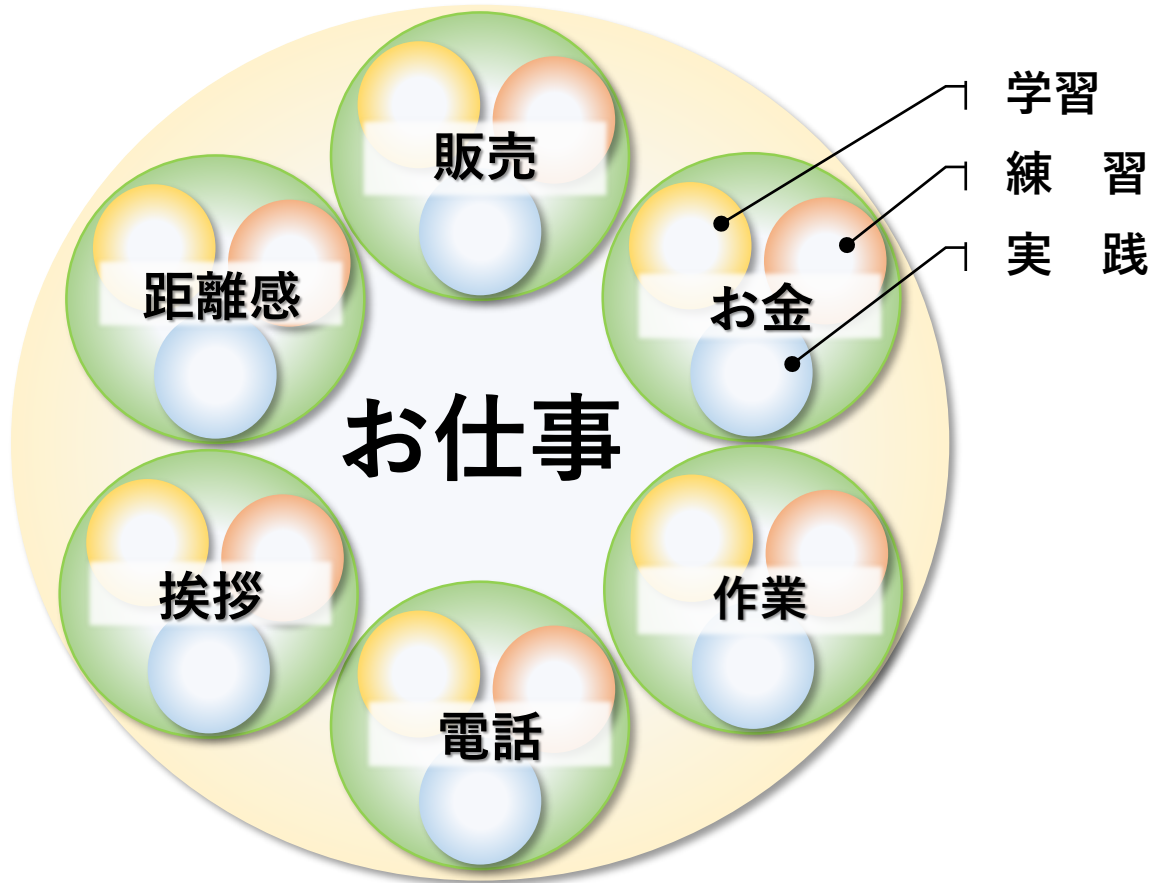
- ・子ども達が安心できる場所の提供
- ・子ども達の選択肢を広げる支援
- ・家族・学校・福祉サービス事業者との連携

# 1部

## 出来るを深める

- ・自己肯定感を高める
- ・「学習」「練習」「実践」
- ・少人数のグループ

# プログラムの全体像



- 少人数グループでの対応

3～4名の小グループを作り、1対2の割合で学習・練習・実践を行います。少人数で手厚く対応していきます。

- 課題に取り組む姿勢や理解を深める

出来る事をたくさん増やし自己肯定感を養う時期から「出来る事」をさらに深める時期の子ども達に、課題に取り組む姿勢を養います。又、一つ一つの出来る事を応用して実践形式で深めていきます。

# プログラムの流れ

---



「出来る」を「得意」に得意をトレーニング  
苦手はサポートして自己肯定感を高めます

# 作業プログラム

## □ プログラム例

- 第1回 紙粘土を使ってペン立てを作る
- 第2回 色鉛筆・クレヨン・サインペンを使ってぬり絵をする
- 第3回 ビーズアクセサリー(ブレスレット)を作る
- 第4回 ペン立てにニスを塗って仕上げる
- 第5回 高齢者デイサービスの方へのプレゼントを作る
- 第6回 美術館で絵本作家の絵を見る
- 第7回 挨拶・人との距離観・表情を学ぶ
- 第8回 友達の作品を鑑賞しよう・メッセージカードを作る
- 第9回・10回 プレゼントをラッピングする  
高齢者の方にプレゼントを手渡しする

## □ 誰かの為になる

作品作りを通して、高齢者デイサービス等に作品をプレゼントしていきます。

## □ ライン作業を体験する

一人で作品を完成させるのではなく、数人の児童で役割を決め出来る事を行います。自分が与えられ役割をこなす事で、作品が出来上がる事を体験します。



# 身だしなみプログラム

## □ プログラム例

- 第1回 楽しみながら身だしなみに関心を持つ
- 第2回 鏡を使って自分の身だしなみを確認する
- 第3回 洋服を整える
- 第4回 髪を整える
- 第5回 図書館に出かける
- 第6回 ベルトの使い方
- 第7回 靴の紐結び、Yシャツのボタン掛け練習  
服屋で服選びとファッションチェック
- 第8回 総チェック・訪問時のマナーとあいさつ
- 第9回 本社訪問でインタビューをする

「場面にあった身だしなみの習慣を身に着ける」ことを中心に学んでいきます。最終日には、学んできたことを活用し本社への訪問を行います。



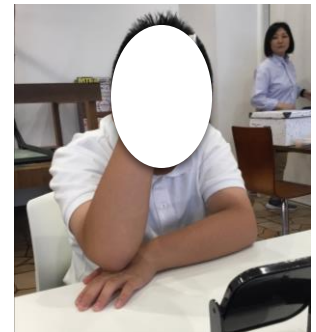
靴ひもの結び方



服のたたみ方



ボタンの止め方



くしの使い方



訪問のマナーを勉強して  
正装に着替えて本社を訪問しました。

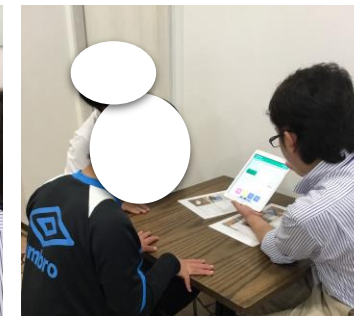
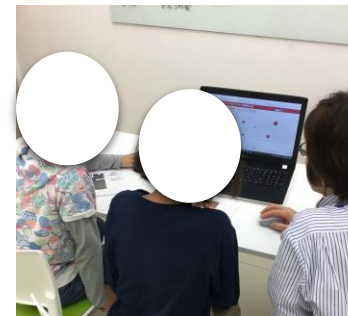


# 情報機器

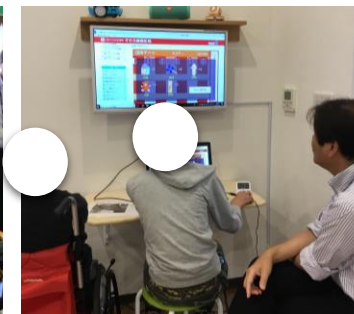
## □ プログラム例

- 第1回 タブレットやパソコンの取り扱い方
- 第2回 復習○×ゲーム・音声入力や文字入力の練習
- 第3回 キーボードの仕組みを知り練習
- 第4回 キーボードの仕組みと打ち方
- 第5回 完成をイメージしながら作る作品を決める
- 第6回 タブレットを使ってぬり絵・イラストを描く
- 第7回 美術館に絵を見に行く
- 第8回 自己紹介カードをパソコンを使って作る
- 第9回 高齢者デイサービス『雅』に届けに行く

基本的な使い方やタイピングを学びます。  
タブレットを使用して、塗り絵のプレゼントと自己紹介カードを作り  
当社が運営する高齢者デイサービスにお届けしました。



学習用アプリを使って、マウスの操作などを学習



塗り絵が完成したら作品を額に入れてプレゼントします。

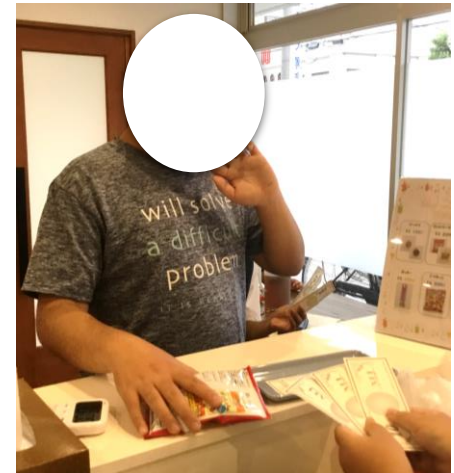


# 買い物・公共交通機関

## □ プログラム例

- 第1回 貨幣の価値・店員と客のロールプレイ
- 第2回 「買う」について・レジの並び方・お金について復習
- 第3回 「売る」について・挨拶を学ぶ、実践・エアレジ体験
- 第4回 電車の乗り方を学ぶ・電車のマナー、優先席マーククイズ
- 第5回 バスの乗り方を学び、バス停探検ツアーに出発
- 第6回 狭山市駅のバス停付近でミッションをクリア
- 第7回 スーパーでお弁当購入（実践）・買い物計画を立てる
- 第8回 大型スーパー見学（フードコートで食事）・買い物計画を立てる
- 第9回 実践「菓子屋横丁見学と買い物」に出かける

貨幣の価値や基本的な買い物の仕方、公共交通機関の乗り方やマナーについて学び、自分たちで行き方を調べて、菓子屋横丁に行ってきました。



## 2部

# 自分で考えて発見する

- 興味ある事に挑戦
- PDCAサイクルを身に付ける

# 自分・相手と向かい合う



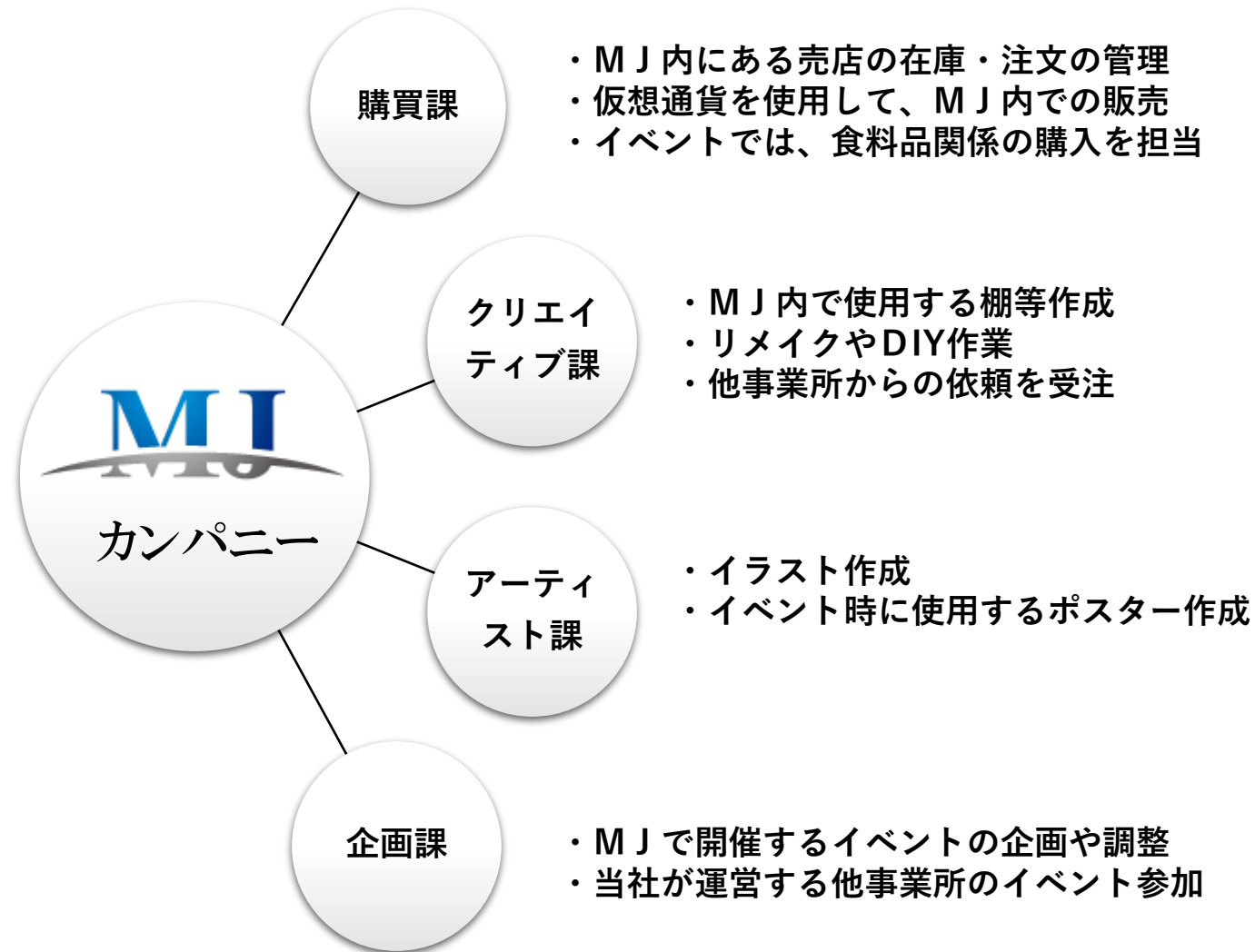
## ● 話し合いを大切に

先生と色々な話し合いを行う中で、自分自身を様々な角度で知る機会を作ります。新しい自分（長所、短所、可能性等）を知る事で、将来に向けての目標を見出していきます。

## ● 「出来た」までの流れを習慣化する

- ①オリエンテーション・・・先生と話し合い新しい自分に出会う
- ②目標の設定・・・・・・・・大きなカテゴリで目標を探す
- ③計画を立てる・・・・・・・・先生と目標を細分化し計画を立てる
- ④計画を実行する・・・・・・・・自ら立てた計画に沿って調べ、学習・練習・実践する
- ⑤計画を見直す・・・・・・・・随時、話し合いを行い計画の見直しを行う

# MJカンパニー

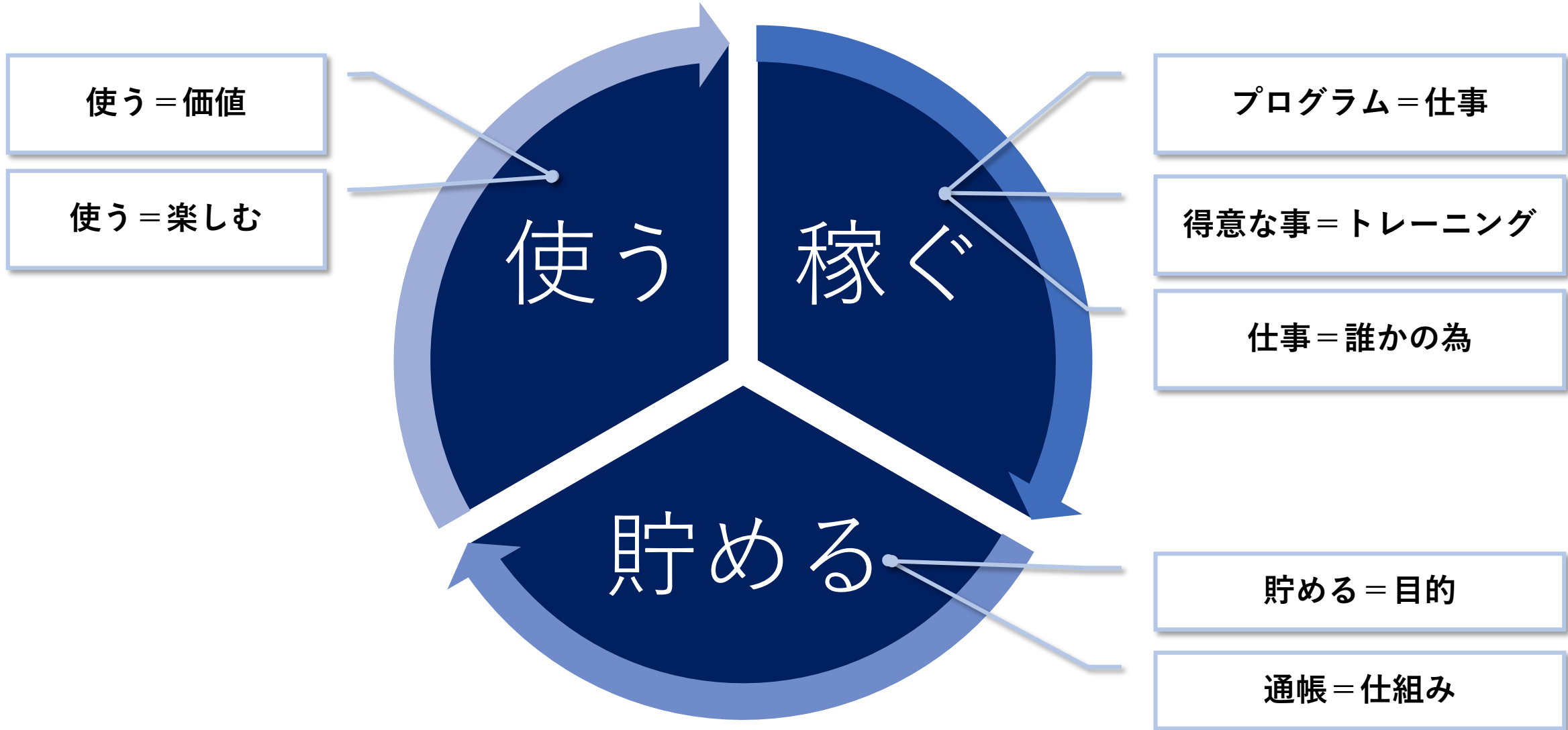


共通

「得意」をトレーニング

「苦手」をサポート

# 得意を磨く





# MJ 祭



様々な役割を果して  
感動体験



# サポートの全体像

小学5年生から高校3年生にかけて  
「自己を知る」  
「他者・集団と付き合う」  
「学習を工夫する」  
「キャリアについて考える」  
スキルを学んで行きます。

## 児童期

15才頃迄

身体・精神的な発達著しい時期

学校による同年代との交流が活発になり、社会性の発達が促されます。

ここから対人スキルを習得したり、行動規範を考えるようになります。

## 幼児期

5～6才

自我が発達し、親のしつけから第一反抗期を迎えます。

自分の視点からしか物事が見えず、自己中心的な考えを持つ時期でもあります。

## 青年期

25才頃迄

前期に第二次性徴期を迎え心身ともに大きく変化します。

自立心が芽生え始める時期です。「自分は何者なのか」などといった、自己への問いの答えを見つけ確立させる為には、青年期以前の発達段階における様々な問題を乗り越えて行く事が重要です。

# 学校との連携を高める

～同じビジョンを持って～

## 市内小中学校・高等特別支援学校・特別支援学校 発達障害を受け入れている学校（一般・支援級）

- ・ 情報交換の場を作る
- ・ 卒業後のビジョンの確認を重ねる
- ・ 同じビジョンを共有、プログラムを共有化。
- ・ 同じビジョンを共有した上で、プログラムを差別化。
- ・ 毎月の様子を書面で報告（先生に身近な存在に感じて貰う）
- ・ 学校の教材（テストや教科書）を使用して学習の補填
- ・ 先生との情報交換

# 1日の流れ



# 概要

事業所名	スタディサポートMJ所沢
種類	放課後等デイサービス
営業日	月曜から金曜日(祝日)
営業時間	平日 月～金：11時00分～20時00分 学校休業日 月～金：9時00分～18時00分
サービス提供時間	平日（授業終了後） 1部：14時00分～18時00分 2部：18時00分～20時00分 学校休業日 1部：10時00分～15時30分 2部：15時30分～17時30分
休日	12月29日から翌年1月3日、5月3日から5月6日、8月13日から8月16日
送迎	1部 有 2部 無
おやつ	100円（税別）